

ら第二当量点まで 0.1 mol/L 過塩素酸・1,4-ジオキサン液で滴定する（電位差滴定法）。

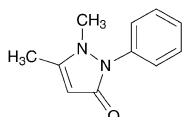
$$0.1 \text{ mol/L 過塩素酸} \cdot 1,4\text{-ジオキサン液 } 1 \text{ mL} \\ = 19.419 \text{ mg } \text{C}_8\text{H}_{10}\text{N}_4\text{O}_2$$

貯法 容器 密閉容器。

アンチピリン

Antipyrine

フェナゾン



$\text{C}_{11}\text{H}_{12}\text{N}_2\text{O}$: 188.23

1,5-Dimethyl-2-phenyl-1,2-dihydropyrazol-3-one
[60-80-0]

本品を乾燥したものは定量するとき、アンチピリン ($\text{C}_{11}\text{H}_{12}\text{N}_2\text{O}$) 99.0 % 以上を含む。

性状 本品は無色若しくは白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はわずかに苦い。

本品は水に極めて溶けやすく、エタノール (95) に溶けやすく、ジエチルエーテルにやや溶けにくい。

本品の水溶液 (1 → 10) は中性である。

確認試験

(1) 本品の水溶液 (1 → 100) 5 mL に亜硝酸ナトリウム試液 2 滴及び希硫酸 1 mL を加えるとき、液は濃緑色を呈する。

(2) 本品の水溶液 (1 → 100) 2 mL に希塩化鉄 (III) 試液 4 滴を加えるとき、液は黄赤色を呈し、次に希硫酸 10 滴を加えるとき、淡黄色に変わる。

(3) 本品の水溶液 (1 → 100) 5 mL にタンニン酸試液 2 ～ 3 滴を加えるとき、白色の沈殿を生じる。

(4) 本品 0.1 g にバニリン 0.1 g, 水 5 mL 及び硫酸 2 mL を加えて煮沸し、冷却するとき、黄赤色の沈殿を生じる。

融点 111 ～ 113 °C

純度試験

(1) 塩化物 本品 1.0 g をとり、試験を行う。比較液には 0.01 mol/L 塩酸 0.40 mL を加える (0.014 % 以下)。

(2) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 1 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える (20 ppm 以下)。

(3) 硫酸呈色物 本品 0.5 g をとり、試験を行う。液の色は無色である。

乾燥減量 0.5 % 以下 (1 g, シリカゲル, 4 時間)。

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g)。

定量法 本品を乾燥し、その約 0.2 g を精密に量り、酢酸ナトリウム試液 20 mL に溶かし、0.05 mol/L ヨウ素液 30 mL を正確に加え、時々振り混ぜ、20 分間放置した後、クロロホルム 10 mL を加えて沈殿を溶かし、過量のヨウ素

を 0.1 mol/L チオ硫酸ナトリウム液で滴定する（指示薬：デンプン試液 3 mL）。同様の方法で空試験を行う。

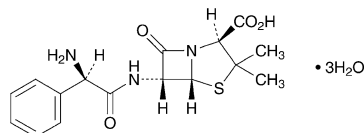
$$0.05 \text{ mol/L ヨウ素液 } 1 \text{ mL} = 9.411 \text{ mg } \text{C}_{11}\text{H}_{12}\text{N}_2\text{O}$$

貯法 容器 密閉容器。

アンピシリン

Ampicillin

アミノベンジルペニシリン



$\text{C}_{16}\text{H}_{19}\text{N}_3\text{O}_4\text{S} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$: 403.45

(2S, 5R, 6R)-6-[(2R)-2-Amino-2-phenylacetyl-amino]-3,3-dimethyl-7-oxo-4-thia-1-azabicyclo[3.2.0]heptane-2-carboxylic acid trihydrate [7177-48-2]

本品は日本抗生物質医薬品基準のアンピシリンの条に適合する。

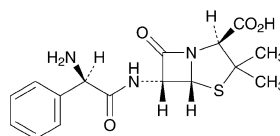
性状 本品は白色～淡黄白色の結晶又は結晶性の粉末である。

本品は水にやや溶けにくく、メタノールに溶けにくく、エタノール (95) に極めて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

無水アンピシリン

Anhydrous Ampicillin

無水アミノベンジルペニシリン



$\text{C}_{16}\text{H}_{19}\text{N}_3\text{O}_4\text{S}$: 349.40

(2S, 5R, 6R)-6-[(2R)-2-Amino-2-phenylacetyl-amino]-3,3-dimethyl-7-oxo-4-thia-1-azabicyclo[3.2.0]heptane-2-carboxylic acid [69-53-4]

本品は日本抗生物質医薬品基準の無水アンピシリンの条に適合する。

性状 本品は白色～淡黄白色の結晶性の粉末である。

本品は水又はメタノールにやや溶けにくく、エタノール (95) に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。